

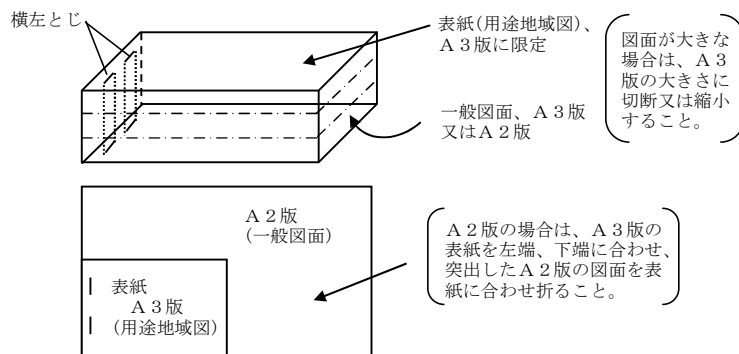
# 許可申請手続フローチャート

許認可の種類  申請書類	許可申請								認定申請		
	敷地等と道路との関係		用途地域内建築	特殊建築物の位置	日影による建築物の高さ	仮設建築物		その他	条例第5条等	その他	
	法第43条		法第48条	法第51条	法第56条 の2	法第85条					
	包括同意基準	個別審査				第5項 (博覧会 建築物 以外)	第3項 及び 第5項 (博覧会 建築物)				
申請書(正本)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
申請書(副本)	2	3	3	4	3	2	3	3	2	3	
添付書類	申請理由書	3	4	4	5	4	3	4	4	3	4
	制限建築物調書			4							
	用途地域図	3	4	4	5	4			4		
	付近見取図	3	4	4	5	4	3	4	4	3	4
	配置図	3	4	4	5	4	3	4	4	3	4
	各階平面図	3	4	4	5	4	3	4	4	3	4
	2面以上の立面図	3	4	4	5	4	3	4	4	3	4
	2面以上の断面図	3	4	4	5	4	3	4	4	3	4
日影図等					4						
建築審査会用図面		10	10		10			10			

注1 添付書類は、全て申請書の大きさに合わせて折り、申請書を表紙にし、左とじとする。

2 建築審査会用図面は、申請書に添付した図面のうち断面図を除く全てとすること。

3 建築審査会用図面作成については、着色した用途地域図（大きさA3版に限定する。）を表紙とし、他の図面は、A3版又はA2版とし、表紙に合わせて横左とじとすること。

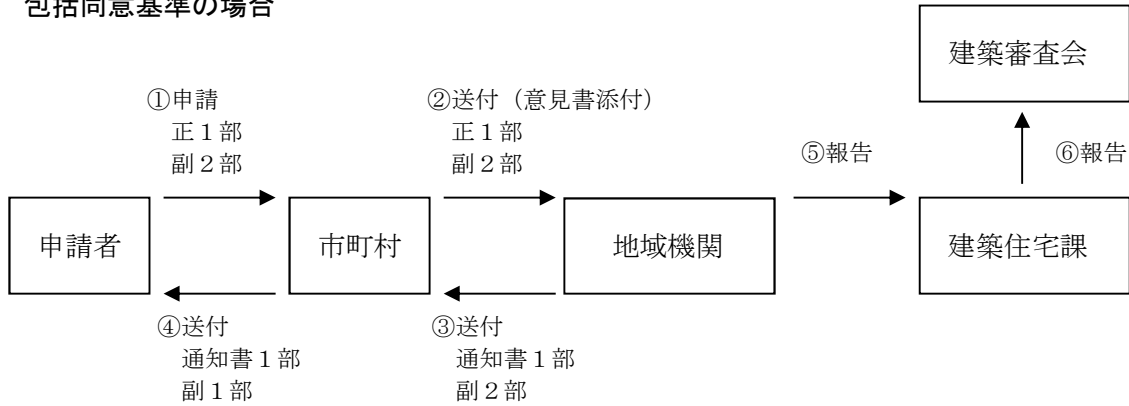


参 考 資 料

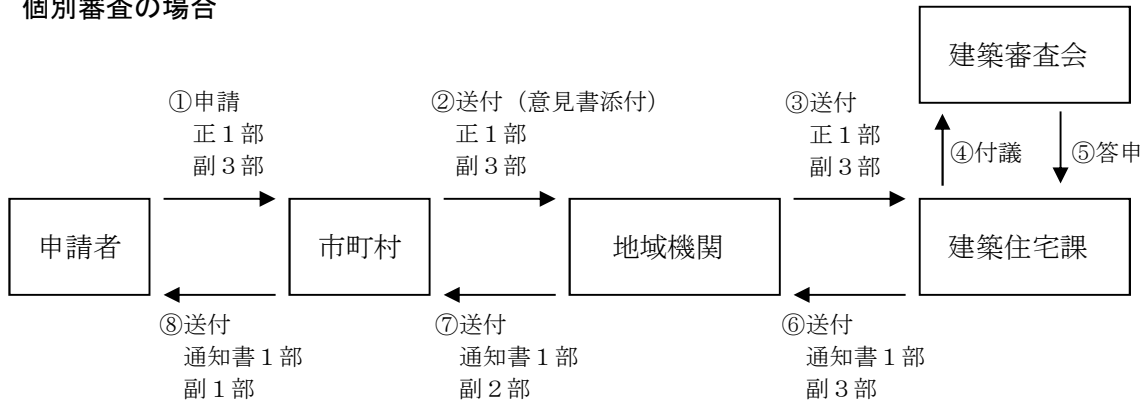
許可申請等の事務処理手順

1 敷地等と道路との関係（法第 43 条）

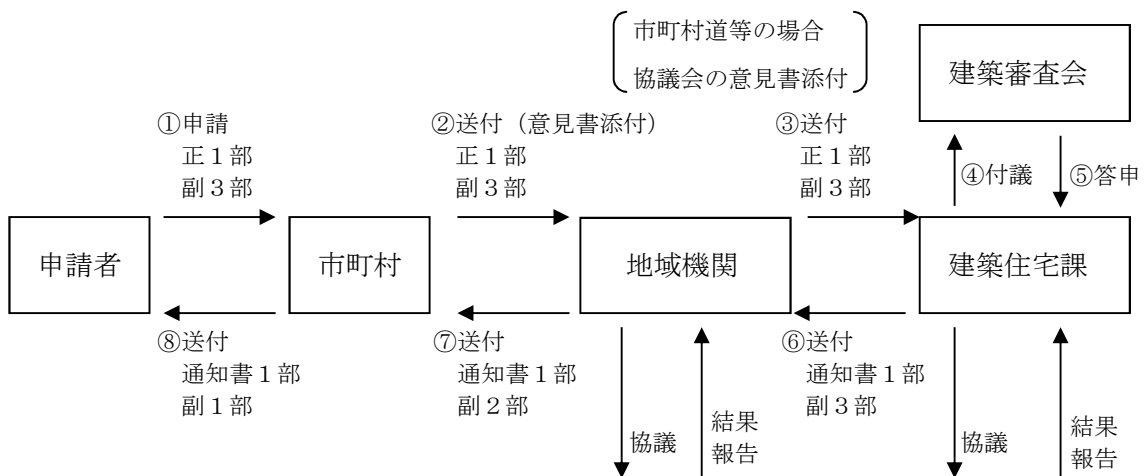
(1) 包括同意基準の場合



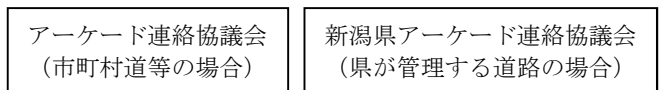
(2) 個別審査の場合



2 道路内建築（法第 44 条）

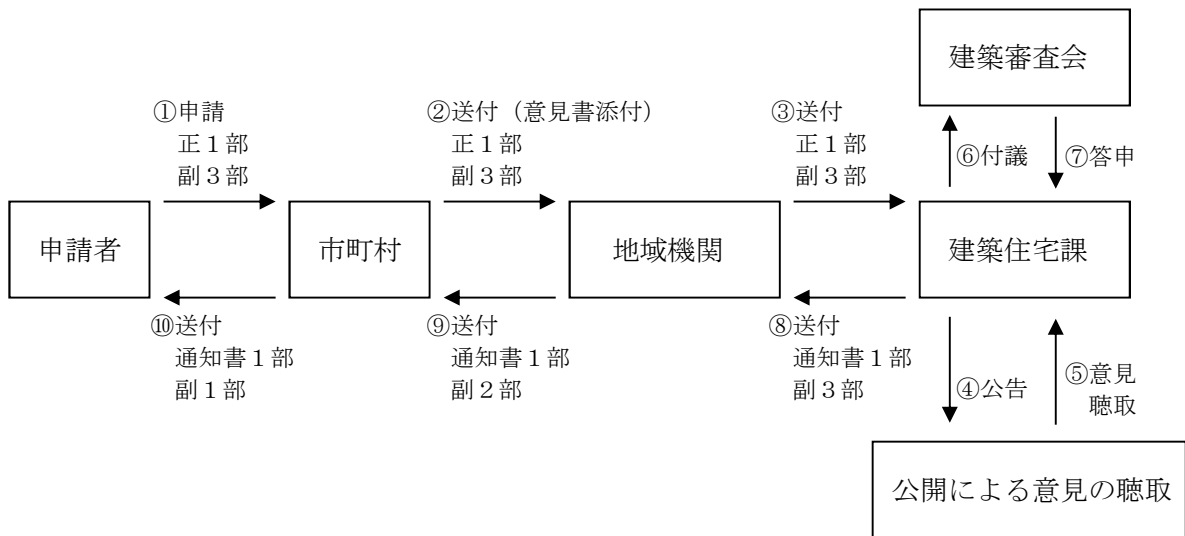


※包括同意基準の場合は、④及び⑤を建築審査会への報告と読み替える。



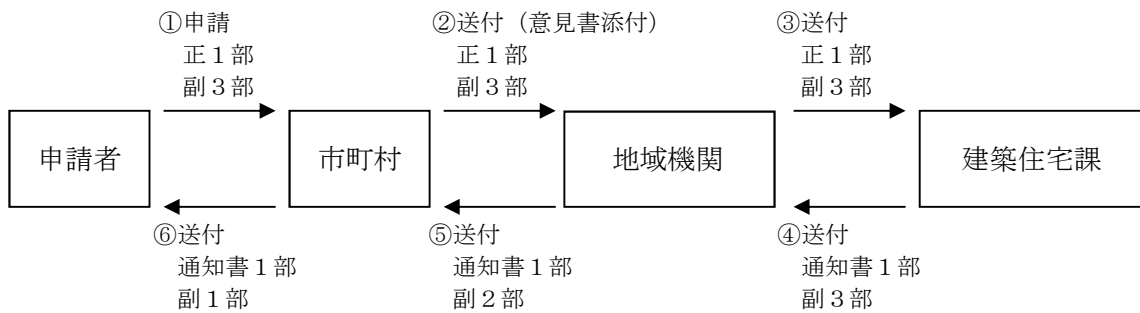
### 3 用途地域内建築（法第 48 条）

#### (1) 許可に当たり聴聞等を行う場合



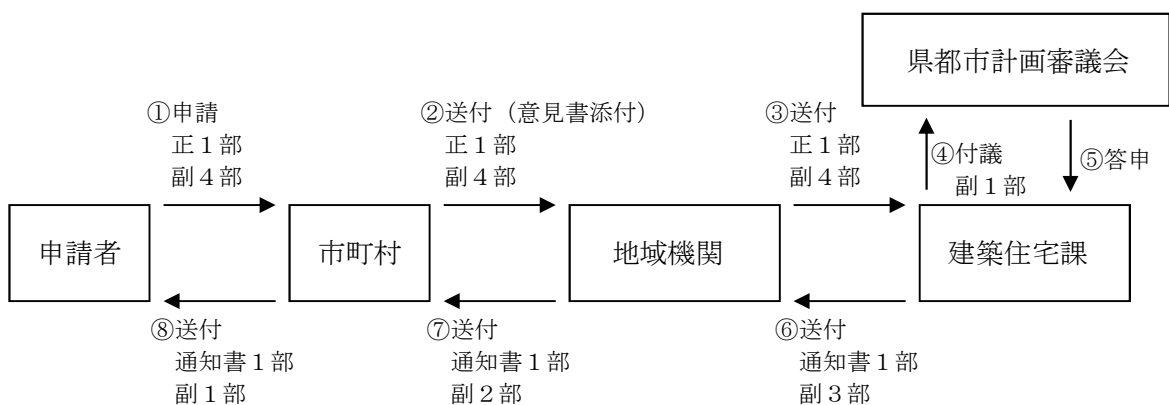
#### (2) 許可に当たり聴聞等を要しない場合

（法第 48 条第 14 項ただし書きに該当するもの）

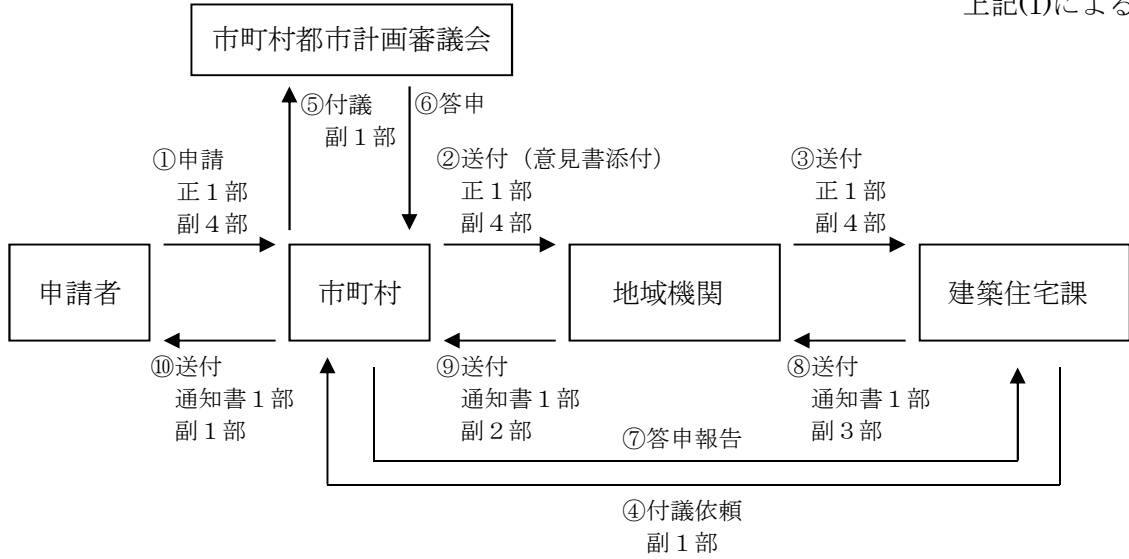


### 4 特殊建築物の位置（法第 51 条）

#### (1) 産業廃棄物処理施設の場合

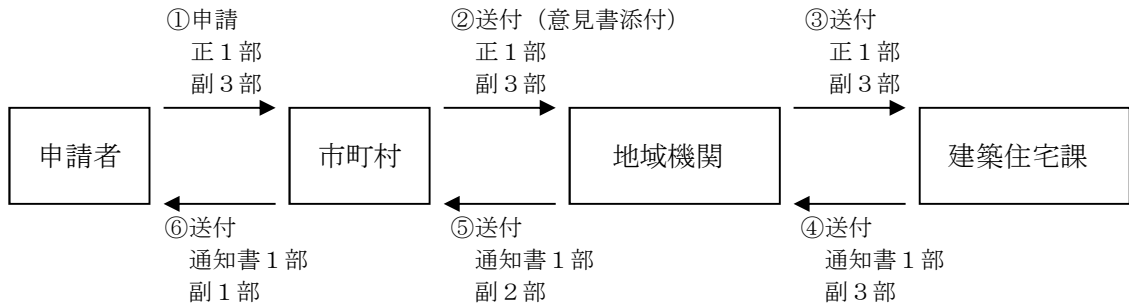


- (2) 産業廃棄物処理施設以外の施設の場合（市町村都市計画審議会が設置されていない場合は、上記(1)による。）

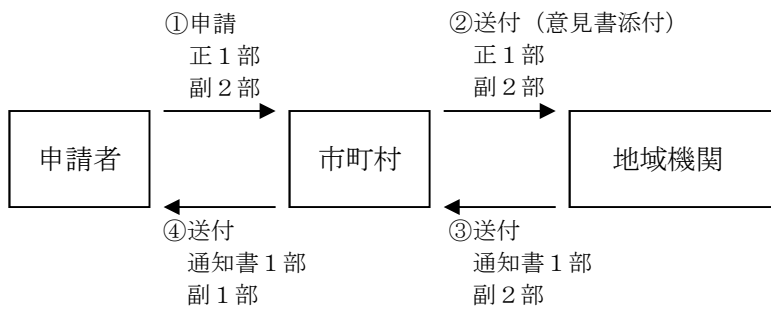


## 5 仮設建築物（法第85条）

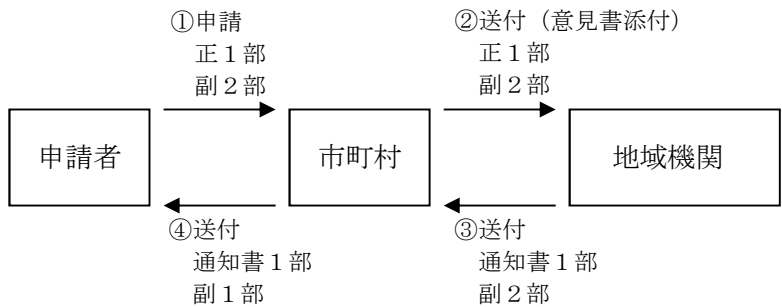
- (1) 博覧会建築物及び応急仮設建築物（存続延期）の場合



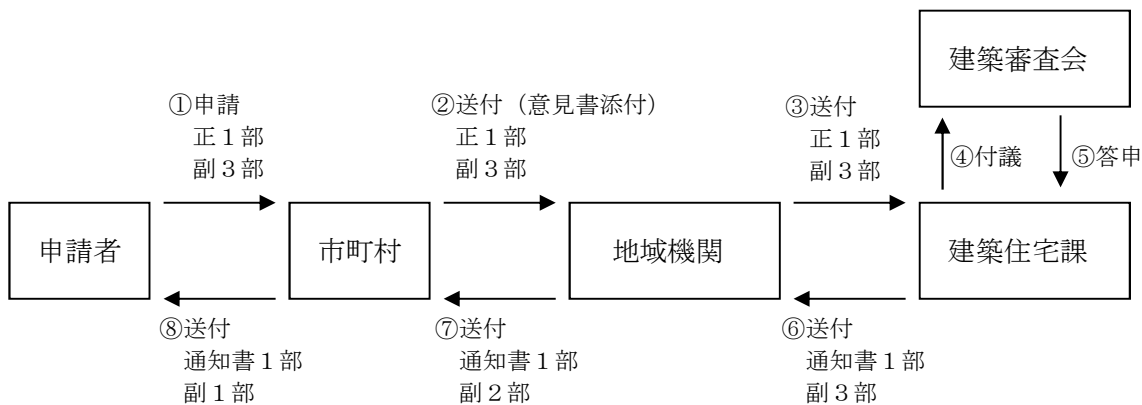
- (2) 上記以外の仮設建築物の場合



6 敷地と道路との関係等に係る制限の緩和（条例第5条）



7 その他の許可、認定の場合



※ 認定の場合、建築審査会の手続きが不要なものもある。

別記2

申請書類に明示すべき事項

申請書類	明示すべき事項	注意事項
<p>許可申請書</p> <p>施行規則 別記第43号様式 別記第44号様式</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様式に従い記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>許可申請書巻末の（注意）による。</li> <li>「敷地の位置の地名地番」は、土地の登記簿の表示のとおり記入する。</li> <li>「住居表示」は、丁目、番地、番、号等の文字を省略せず記入する。</li> </ul>
<p>制限建築物調書</p> <p>建築基準法施行 細則別記第1号 様式</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様式に従い記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9欄(4)「機械台数」及び(5)「動力数」は、制限を受ける機械について記入する。</li> <li>13欄「機械設備」は制限を受けないものを含め全て記入する（原動機を使用しないものを含む。）。</li> <li>14欄「作業内容」は、具体的に各工程順に説明し、どの工程に、どの機械設備が使用されるか、また、騒音、振動、悪臭などの状態について記入する。</li> <li>10欄から14欄までの欄内に記入しきれないときは、別紙に記入し添付する。</li> </ul>
<p>付近見取図</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施行規則第1条の3第1項表1の付近見取図の項に示す事項</li> <li>敷地周辺約100m範囲の土地建物の利用状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地建物の利用状況の明示の方法は、各用途群ごとに色分けし、例えば住居は黄色、店舗は赤色、工場は青色、倉庫は茶色等とする。</li> </ul>
<p>配置図</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施行規則第1条の3表1の配置図の項に示す事項</li> <li>井戸、側溝、油水分離層、集水桝、し尿浄化槽、ごみ置場、洗車場、駐車場、空調機又は扉の位置、植樹の状況</li> <li>敷地内の建築物の用途、構造、規模、建築年次等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現に存するものに限らず、申請に伴い計画されたものを含め明示する。</li> </ul>

申請書類	明 示 す べ き 事 項	注 意 事 項
各 階 平 面 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施行規則第1条の3第1項表1の各階平面図の項に示す事項</li> <li>・床、壁、天井、開口部及び屋根の構造、換気設備及び空調設備の位置及び構造、機械設備又は危険物の種類及び位置並びに計画部分と既設部分との別</li> <li>・断面図の位置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械設備を平面図に記入すると図面が見にくくなる場合は、別図を作成し、添付する。</li> </ul>
2 面 以 上 の 立 面 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施行規則第1条の3第1項表1の2面以上の立面図の項に示す事項</li> <li>・換気設備、煙突、臭突及び空調機の位置</li> </ul>	
2 面 以 上 の 断 面 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施行規則第1条の3第1項表1の2面以上の断面図の項に示す事項</li> <li>・開口部、煙突及び臭突の高さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構造詳細図等と兼用できない。</li> <li>・平面図に断面の位置を記入する。</li> </ul>
用 途 地 域 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村で作成した都市計画図を使用し、縮尺及び方位並びに敷地の位置を明示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地境界線を赤線で明示する。</li> </ul>
日 影 図 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施行規則第1条の3第1項表2の(30)項に示す事項</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現況の日影と敷地内の建築物の最終の姿の日影を同一図面に明示する。ただし、図面が見にくくなる場合は、それぞれ別図とする。</li> <li>・制限を受ける日影の等時間日影線及び制限を超える範囲を色分けし明示する。</li> <li>・方位の記入は、南北の線の長さを10 cm以上とする。</li> </ul>
<p>共通注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 付近見取図、配置図、各階平面図、用途地域図及び日影図の作図に当たり、方位は、原則として図面の上方を北とし、各図の向きをそろえる。</li> <li>2 法第48条の規定による許可申請の場合は、敷地内の全ての建築物について、各階平面図、立面図及び断面図を作成する。</li> </ol>		